

メディアと政治 -情報化の進展と情報過疎 :rich media,poor democracy -

服部孝章 (立教大学社会学部メディア社会学科 =2006.4 新設)

1 フルデジタル時代の情報環境

記憶の外脳化 : 携帯電話のもたらしたもの 手紙を書く→メールを出す

テレビ放送のデジタル化 日本 : 高画質化 欧米 : 多チャンネル化

デジタル化の進捗とグローバリゼーションブーシヨナリズム

競争→商業化 + 「愛国 j 報道」

映画 Good Night ,and Good Luck 2006 年 4 月末日本公開

エド・マロー (ウォルター・クロンカイト、ダン・ラザー)

2 「小泉劇場」と9.11以降の米「愛国 j 報道」

主役も脇役も自民党

「改革」を批判することが対抗勢力

かつての「国土開発 = 発展・善」と同様な状況

⇔ 公害報道 : マスコミ (報道機関) が砲列を敷き、報道競争を展開。連帯感
報道機関 政治広報機関化

現政権批判→視聴率低下・購買者減少

2005.9.11 総選挙 イラク侵攻継続中 + 新憲法制定の動きがある中での選挙報道

郵政民営化が単一争点

解散後の小泉首相記者会見

「ガリレオは有罪になっても“それでも地球は回っている”と言った。私は郵政民営化に賛成ですか、反対ですか国民に聞きたい」

「殺されてもいいというくらいの気持だ」(森喜朗に)

2 大政党への加速が、事実を孤立させる

3 沖縄密約をめぐる吉野文六・元外務省アメリカ局長証言

2006.2.8 北海道新聞朝刊 1971 年沖縄返還協定「米との密約あった」外務省元局長

1 面・第 1 社会面 400 万ドル肩代わり佐藤首相判断

記憶はワソをつけない ただ・・「真偽と機密漏えいは別」

- ・共同、朝日、毎日、読売など報道 テレビニュースの扱い少ない
- ・怒りを忘れる社会
- ・事実報道の意義と社会の無関心
- ・メディアスクラム取材報道が「殺到」か「自粛」に

4 皇室報道と「皇室典範」改正論議

紀子さん懐妊報道宮内庁発表の予定までつけて NHK 報道
「皇室法」、天皇制の是非は報道されず
「国民統合の象徴」について皇室の一員が発言することの意味

5 情報過疎：解説・解釈がない「動向情報」の氾濫

ホリエモン事件 = 東京地検特捜部
ガサ入れ前に NHK 報道
証券取引等監視委員会の委員長 = 高橋武生 (東京地検の元検事正)
「武部メール事件」地検特捜部「いや、持っていません」= 政治的発言
NHK 民営化論・受信料不払い者への法的手段着手
受信料・受信契約の法的位置づけ ???
ETV2001 問題
政治家への事前説明を「通常業務」とする NHK
NHK 予算審議前に国会に出席する関係者・NHK 車両

6 まとめ

デジタル化/民営化→商業化、メディアのメガメディア化
メディアの公共性 =? 多くの人に読まれること・見られること
少数者・少数意見の尊重、民主主義社会の発展への寄与
下降線に入った新聞経営・放送局経営
⇒ 9.11 以後支持率が倍増した米ブッシュ大統領
⇒ NEWS23 での渡辺恒雄氏の発言 顔の見える経営者
部数減・視聴率低下・CM とばし→報道・娯楽機能の衰退
ニュースの断片化からニュースストーリーの報道へ

国際的視野 (国際的多様性理解促進) を拡大させる報道機関を応援する市民
総合情報機能を持つことを期待される新聞を基点に考える読者
公権力に批判される報道機関の存在意義を再確認、